

平成 3 0 年

第 7 回仙北市議会定例会
教 育 行 政 報 告

仙北市教育委員会

平成 3 0 年 1 1 月 3 0 日

平成30年第7回仙北市議会定例会の開会にあたり、主な事項について、ご報告させていただきます。

【教育総務課】

◇台湾台北市立北投国民中学訪問について

1月4日から6日まで、佐々木生保内中学校長と私、二人で台北市立北投国民中学を訪問して参りました。今回の渡航は、世界で2ヶ所だけにしかない「北投石」を有し、姉妹温泉となっている、玉川温泉と北投温泉をもつ地域として、生保内中学校と北投国民中学との姉妹校提携に関する意思確認及び交流内容についての協議を目的とするものでした。

この学校は、台湾内で優秀校に選出されている中学で、子どもたちの活発な文化・スポーツ活動とともに、郷土に結びついた積極的な実践活動に取り組んでいる、全校生徒1,100人の学校です。

校長先生から、来年の桜の時期に是非訪日し、学校訪問をしたいとの意向を伺っております。

今後、交流内容等について、両校で英語担当教諭を窓口として協議をして参りたいと考えております。

◇学校適正配置に関する意見交換会について

1月13日から西明寺地区、角館地区、桧木内・上桧木内地区、中川地区において、学校適正配置に関する意見交換会を開催しました。

1月13日の西明寺地区意見交換会と、1月16日の角館地区意見交換会では、これまでの経緯や桧木内・上桧木内地区、中川地区における意見交換会の状況を説明し、「子どもたちのよりよい教育環境は、どうあればよいか」をテーマに意見交換を行いました。

1月22日の桧木内・上桧木内地区意見交換会と、1月28日の中川地区意見交換会では、今後の方向性等について意見交換を行いました。

桧木内・上桧木内地区では、通学時間の問題、健康面への不安、生徒や保護者の負担の大きさ、不公平感及び地域の衰退への危惧等の観点から、性急な適正配置を行わず、意見交換を継続していくこととしました。また、少人数のデメリットを軽減していくために学校間交流を積極的に行っていくことも確認し合いました。

中川地区では、今後適正配置に向けて、具体的なスケジュール等について協議を進めていくこととしました。

この後、西明寺地区、角館地区の保護者、住民にも桧木内・上桧木内地区や中川地区の状況を説明し、理解と協力を得ていきたいと考えています。

◇秋田県都市教育長協議会教育長・関係課長会議について

11月20日、グランデールガーデンにおいて、仙北市では初めての、全県都市教育長・関係課長会議が開催されました。

前半の仙北市教育活動の紹介では、「小さな国際文化都市の一員」にふさわしい特色ある教育として、ドローンを使用したプログラミング学習、田沢湖クニマス未来館を活用しての環境教育、台湾恵文高級中学や北投国民中学との交流などについて発表しました。

後半の意見交換会では、「登下校時等の安全確保に向けた取り組み」「情報モラル教育の充実に向けた取り組み」について、活発な討議を行い、有意義な意見交換となりました。

◇各種研究大会について

10月24日、角館小学校、角館中学校を会場に「伝え合う力を高める国語教育」をテーマに大曲仙北国語教育研究会が開催されました。どちらの会場でも、言葉を通して思いや考えを適切に表現し、生き生きと伝え合う子供の姿が見られました。

11月2日、生保内小学校、仙北市民会館を会場に、第25回東北小学校生活科・総合的な学習研究協議会秋田大会並びに第14回秋田県小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会仙北大会が開催

されました。「つなげるんだ！ひろげるんだ！たかめるんだ！」を大会主題に全学年の授業が公開され、自ら課題をもち、互いに関わり合いながら、意欲的に学びを深めていく子どもの姿が見られました。遠くは静岡県からの参加者を含め、320人余りの参加者がありました。

当日は、仙北市教育研究会研究大会と兼ねて生保内中学校でも授業を公開し、市内小中学校の教職員や、こども園・保育園の職員も参加し、授業参観や熱心な研究協議が行われました。

また、文部科学省初等中等局 渋谷 一典(しぶや かずのり)教科調査官、文教大学 嶋野 道弘(しまの みちひろ)元教授、國學院大學 田村 学(たむら まなぶ)教授、秋田大学 濱田 純(はまだ じゅん)客員教授からのご指導もいただき、生保内小学校の実践に高い評価をいただきました。

◇児童生徒の活躍について

11月8日、秋田市文化会館で、第68回“社会を明るくする運動”作文コンテストの表彰式が行われ、西明寺中学校2年猪本玲奈(いのもと れな)さんの作文、「『団結力』の提案」が中学生の部で優秀賞に入賞しました。

11月10日から中学校全県新人大会が開催されました。駅伝では、男子の部で角館中学校Aチームが第2位、女子の部でも角館中学校Aチームが第3位という素晴らしい成績を収めました。

柔道では、個人の部、男子60kg級で角館中学校2年小玉穰二(こだま じょうじ)さんが第3位、同じく81kg級で生保内中学校2年田口俊斗(たぐち しゅんと)さんが第3位、同じく90kg級で角館中学校2年蒲生純翔(がもう すみと)さんが第3位となりました。

◇台湾台中市立恵文高級中学来訪について

12月3日から3日間の日程で、台湾台中市立恵文高級中学一

行40人（生徒34人 引率6人）が教育旅行で仙北市を訪れ、12月5日には、角館中学校との姉妹校提携調印式を予定しております。

仙北市内の中学校が外国の中学校と姉妹校提携をするのは、初めてのことです。異文化に触れ、新たな視点を持ち、国際感覚を養うことが、これからの人材育成につながっていくものと期待しております。

◇総合給食センター（仮称）新築工事及び厨房設備工事について

先の議会臨時会において、ご可決いただきました総合給食センター（仮称）の建築工事及び厨房設備工事の入札が執行され、11月26日落札業者が決定いたしました。

建築工事が、小松・瀧神・寺沢特定建設工事共同企業体、厨房設備工事は富士開発・万景・アクサム特定建設工事共同企業体が落札しております。

現在、契約手続を進めており、今定例会に請負工事契約の締結議案を追加提案させていただきたいと考えております。

【公民館】

◇仙北市文化祭について

仙北市の文化祭が各地区において盛大に開催されました。角館地区は10月13日、14日の両日角館交流センターにおいて、田沢湖地区は10月27日、28日の両日生保内市民体育館において、西木地区は11月4日に西木温泉クリオンと、隣接する西木林業者等健康増進施設を会場に、各地区文化祭実行委員会や芸術文化団体、学校等が一丸となって開催されました。

各地区それぞれ特色があり、作品展示、芸能発表など日頃の芸術文化活動の成果が多数披露され、3地区で延べ1,200人ほどの来場者の方々に、芸術文化に親しんでいただきました。

【学習資料館・イベント交流館】

◇仙北市感謝状贈呈式について

11月3日、角館樺細工伝承館を会場に、約200名の皆様にご参加いただき、仙北市感謝状贈呈式を執り行いました。

贈呈式では、大正11年から41,000点を超える図書の寄贈を続けている株式会社新潮社佐藤隆信代表取締役社長、昭和39年から引き続き文化講演会を主催し、児童書の寄贈を続けている角館図書館後援会石黒直次会長、読書感想文コンクールを通じて子どもの読書活動を推進した故西宮陽助さんに、市長から感謝状が贈られました。

◇新潮社創業者佐藤義亮生誕140年記念式典について

11月3日、感謝状贈呈式に続き同会場において、仙北市出身の佐藤義亮の偉大な功績を顕彰する「新潮社創業者佐藤義亮生誕140年記念式典」を開催しました。

式典では、株式会社新潮社と、角館図書館後援会等の地元団体と、仙北市との関わりを広く紹介するとともに、互いの良好な関係を未来へと引き継ぎ、読書活動を積極的に推進して行くことを誓い合いました。

式典の後には、角館図書館後援会主催の記念事業第58回文化講演会が開催され、作家の梨木香歩（なしき かほ）さんが「内なる旅をいくこと」について講演をされました。

◇「高井有一展」と新たな寄贈について

7月14日から11月4日まで、新潮社記念文学館で開催しましたアンコール企画展「高井有一展」は、1,417人のお客様からご観覧いただき、好評のうちに終了しました。

この度の展示品には、今年、奥様の中村輝子さんから寄贈された高井有一「帰還」100枚の原稿のうち冒頭部分の生原稿や早

稲田大学卒業論文も含まれ、新しく展示した多くの写真とともに、先生のお人柄が偲ばれる展覧会となりました。

最終日の11月4日には、中村さんより長編小説「高らかな挽歌」703枚の原稿を新たに寄贈いただきました。今後も寄贈いただいた貴重な品々を大切に役立てて参ります。

◇「佐竹北家日記にみる天文現象展」について

11月10日から来年3月29日まで、企画展「佐竹北家日記にみる天文現象展」を開催しています。江戸から明治まで220年間綴られた佐竹北家日記から日食・月食・彗星の出現についての記録を抜粋し、古文書に触れたことのない方にも分かり易い画像を添えた展覧会です。

会期中は、大正9年に角館町白岩地区で発見された「白岩隕石」や明治期の錦絵集のパネル他、貴重な資料をあわせて展示します。多くの方々にご観覧いただきたいと思います。

【文化財課】

◇伝建群防災施設整備事業Cブロックの完成と防災訓練の実施について

10月29日今年度の伝統的建造物群保存地区防災施設整備事業（国庫補助事業）のCブロック工事（河原田家・小田野家周辺）が完成いたしました。

この施設整備により、全自動エンジンポンプ、屋外消火栓、遠隔操作盤の更新等を行い、伝建群の防火対策施設が更に充実しました。

11月18日、この防災設備工事の完成にあわせて、角館北地域自主防災会20人と文化財課職員で、防災設備の説明と放水銃を実際に使った操作訓練等を行いました。

【平福記念美術館】

◇「開館30年記念 平福穂庵・百穂父子展」について

10月2日から11月18日まで「開館30年記念 平福穂庵・百穂父子展」を開催いたしました。

開館30年を記念して、仙北市が誇る日本画家、平福穂庵・百穂父子の力作を、今回初めて出品された作品も含めて58点を展示し好評を博しました。

紅葉シーズンとも重なったことから、期間中の入館者は2,066人と多くの皆様にご来館いただきました。

◇「児童生徒県南美術展」について

12月1日から来年1月27日まで、「第41回児童生徒県南美術展」を開催いたします。

この美術展は、子どもたちの美術をとおしての表現力や発想力の向上、芸術に対する興味や関心を引き出すことを目的に昭和53年より実施しているものです。

今年で第41回を迎えるこの美術展は、冬の児童生徒県南美術展として恒例となっており、県南の参加校（小学校58校 中学校23校）からも好評を得ております。子どもたちが一生懸命描いた力作を多数展示しておりますので、是非ご観覧いただきたいと思います。

以上、教育行政に関する報告を申し上げましたが、本定例会に提案しております教育関係議案につきまして、慎重審議のうえ、ご可決賜りますようお願い申し上げ、教育行政報告といたします。